

摩訶不思議、かつて「くろもん」と呼ばれて愛された^{たまつくりくろもんしろり}「玉造黒門越瓜」は、鮮やかな緑に白い縦縞をまとった「しろり」。大坂から奈良・伊勢への出入り口、玉造の地の利を背景に、江戸時代には盛んに栽培され、なにわ名物の漬物ともなっ
て商われました。その実の中には、大阪の歴史がぎゅっと詰まっています。

今回のフォーラムでは、大河ドラマさながらの、当地での越瓜の誕生・盛衰を
めぐる歴史秘話の数々、はるかな時を経て復活を果たした経緯、栽培の輪の広が
りや、料理を通じたコミュニケーションまで、一連の流れとしてご紹介。当越瓜を
入り口に、歴史都市・大阪を育んだ食と農と暮らしの風景が、未来の生活文化に
つながる可能性を、ごいっしょに味わい実感できる機会となれば幸いです。

このイベントは、U-CoRo プロジェクトStep2「上町台地 今昔タイムズ」第6号
と連動して開催するものです。

*プロジェクトの詳細は、ホームページ「大阪ガスCEL」「U-CoRo」で検索してご覧いただけます。



U-CORO STEP 2
壁新聞プロジェクト関連イベント
上町台地・今昔フォーラムVOL.6

なにわ名物「玉造黒門越瓜」の 誕生・盛衰・復活のドラマに学ぶ

—歴史都市・大阪を育んだ食と農と暮らしの風景再び—

■開催日時：2016年8月20日(土) 14:00~16:30(17:00頃~収穫祭・交流会)

■会場：大阪ガス実験集合住宅NEXT21 2階ホール
大阪市天王寺区清水谷町6-16(地下鉄「谷町六丁目駅」7号出口から徒歩5分ほど)

■プログラム(予定)：

14:00~14:10=開会 ご挨拶・趣旨説明

14:10~14:50=導入レクチャー

「玉造黒門越瓜をめぐる歴史と復活の物語」

講師：鈴木伸廣氏(玉造稻荷神社 禰宜)

15:00~16:30=クロス・トーク

「玉造黒門越瓜を入り口に、食と農と暮らしの風景を再考する」

コメンテーター：森下正博氏(なにわ伝統野菜応援団員、農学博士)

八木 滋氏(大阪歴史博物館 学芸員)

鈴木伸廣氏(前掲)

そして、ご来場のみなさまとともに語り合います。

※17:00頃~収穫祭・交流会 (同建物1階交流室にて、参加費500円)

越瓜料理の数々を試食しながら、食と農と暮らしの風景に思いを馳せます。

◎参加申込：参加者名・所属・連絡先を書いて、
FAX.06-6205-3512(CEL弘本)へお申込みくださるか、
<https://www.sumai-machi-net.com/event/portal/event/32479> の
申込フォームをご利用ください。

◎定員：50名程度

◎問合せ先：CEL弘本(電話06-6205-3518)まで

■主催：大阪ガスエネルギー・文化研究所(CEL) 企画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング



越瓜料理の数々

